

未来づくり懇談会（山田）会議録

日 時：平成28年11月2日（水）
19：00～20：10

場 所：山田自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、
商工林業観光課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

持続可能な泉地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、小さな拠点構想等について説明。

5 意見交換

Q1 県道バイパスとスマートインターの進行状況を伺いたい。

A1 県道矢板那須線バイパスについては、正式にバイパス整備すると決定した。現在、道路の詳細設計を矢板土木事務所で行い、年内に詳細設計を地元住民に示し、用地交渉に入る予定と聞いている。

スマートインターについては、今年5月に正式に設置すると決まった。現在の矢板北パーキングに設置するが、北パーキングにつながる道路整備は矢板市が行う。本年度予備設計を発注し、来年度には詳細設計を行う予定。その後用地交渉等を行い工事という流れになる。順調にいけば平成33年3月に開通となる。

Q2 泉小学校の統廃合時に、小学校が統合するのは良いが、小中一貫校にすべきではないと思ひ訴えたことがある。泉中を矢中に統合すべきではないか。

A2 小中一貫にしたことで実績があがっているのは確か。全国テストでも泉地区は良い成績を収めている。中学校の統合も考えていかなければならないとも思うが、皆様のご意見をいただきながら検討したいと思う。

平成30年3月	矢板市公共施設再配置策定計画を策定
平成30年6月	矢板市立小中学校適正配置検討委員会を設置

Q 3 ミヤコタナゴの数が少なくなったというが、雨が多い時は池から逃げ出すのではと思う。環境整備が必要なので市でも予算を削らずに上げて欲しい。

A 3 整備するにしても、制約が多いと思うので現場をよく見てから検討させていただく。

平成 28 年度	大雨の後など、水量が多い時にオーバーフローすることを確認。
平成 29 年度	生息数の減少に関しては、産卵母貝のドブガイの減少が影響している。泥の流入を防ぐ等の対策を今後検討。

Q 4 教習所から山田に下がってくる道の草刈りはどうなっているのか。以前はこまめに刈っていた。また、その道の丁字路の停止線が長いので、短くして欲しい。

A 4 市道の除草について、矢板市も財政事情が厳しいなかで道路の整備も進んでいない状況にある。今まで年 2 回行っていた除草が年 1 回になることも、山田行政区だけでなく市内各地域であるが、現地確認させていただく。

また、停止線については警察の管轄になるので、矢板警察署の交通課に伝えておく。

Q 5 山田、荒井の境の道に側溝があるが蓋がないため、年に何回か車が落ちる。蓋を設置して欲しい。

A 5 現地確認させていただき検討する。

Q 6 年数回、ごみ拾いや刈り払いしているが、泉から山田にくる道はごみが多い。防犯カメラ設置の看板がある所はゴミが落ちていないので、検討して欲しい。

また、道の駅が栄えて良いと思うが、近くのビニールハウスが景観を悪くしている。矢板は自然を売りにしていくと思うが、これから先のことを考えて、景観のことを検討して欲しい。

A 6 ごみの不法投棄については、防犯カメラを設置するのはお金がかかるので難しいが、防犯カメラ設置という文言が書かれた看板を設置したいと思う。

また、農村景観を守っていく取り組みは必要だと思うので、先進事例を勉強して取り組みたいと思う。

◆不法投棄について

平成 28 年 6 月 不法投棄看板設置（約 5 枚）

平成 28 年 8～12 月 置き去り物により原因者（2 名）特定。指導済み。

平成 29 年 10 月 置き去り物により原因者特定。指導済み。

※通年 監視員によるパトロール。